

平成28年度 第1回公立大学法人公立鳥取環境大学経営審議会 議事要旨

- 日 時 平成28年5月12日(木) 10:00～11:20
- 場 所 公立鳥取環境大学 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 高橋一委員、河原正彦委員、今井正和委員、若原道昭委員、岡部哲彦委員、
藤縄匡伸委員、吉田圭子委員、渡邊良人委員[8名/10名]
山崎安造監事[1名/2名]
- 欠席者 林田英樹委員、山田憲典委員、湯原裕子監事

【議事】

1 新委員等の紹介

理事長から新たに審議会に出席することとなった今井委員、山崎監事及び湯原監事(欠席)の紹介があった。

2 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

3 報告事項

(1) 公立大学法人公立鳥取環境大学教育研究審議会規程の一部改正について

理事長から、教育研究審議会の学内委員に情報メディアセンター長及び国際交流センター長を追加するための改正であるが、後日開催される教育研究審議会の承認を得た上で施行する旨の報告があった。

(2) 平成29年度入試概要について

理事長から、入試の区分、募集人員及び入試科目など基本的な事項は平成28年度入試と同様である旨、一般入試前期日程の会場(首都圏(大宮)の追加)や県内高等学校の推薦人数枠廃止等の見直しを行った旨の報告があった。

<主な意見等>

- ・大宮以外にも例えば京都など受験会場に適した箇所があるのではないかと。
→ 昨年度、費用対効果を考慮して首都圏(東京)の受験会場を取りやめた経過があるが、関東以北から入学する学生が一定数あるため、試行的に首都圏(東京都以外)に会場を設けることとし、受験者にとって交通の便の良い大宮を選んだ。

(3) 近況報告

事務局山本企画監から、在籍者状況、平成27年度就職活動状況及び平成28年度入試実施状況など大学の近況について報告があった。

<主な意見等>

- ・企業から大学への求人について、学部毎の傾向はあるかと。
→ 大学へ来るものは、学部不問の求人が大多数。実績から見ると環境学部については、環境関連のメーカー等への就職者や教員採用、大学院進学が増加等の傾向がある。
- ・まちなかキャンパスで一般の利用者が増えているとのことであるが、どのような方が利用しているのか。また、歩いて来る方は多いかと。
→ ビオトープの観察やまちなか英語村などに定期的に参加する方や会議利用の方など

である。近隣から歩いて来る方もいる。

- ・利用者が増えているのは良いこと。是非、まちなかを歩いて、活性化に寄与してほしい。
- ・倉吉でも英語村を定期的で開催してもらえると良い。英語に興味のある方はいると思う。
→ まちなか英語村は、時間割の都合で学生が英語村を使わない時間帯に、まちなかキャンパスに出向いているもの。県中部での対応の可否について検討したい。

4 審議事項

(1) 学長選考会議委員の選任について

学長（理事長）の選考等に関わる委員の選任を行うため、理事長は退席し、河原副理事長が議長を務めた。

河原副理事長から、学長選考会議の業務やスケジュール等に係る説明及び現規程では審議会委員の任期が満了した場合、次回審議会開催時まで学長選考会議委員が不在となる等の課題があることについての説明があった。

学外委員からの提案を受け、満場一致で、前委員である河原委員、岡部委員、林田委員の3名が選任された。

なお、欠席の林田委員については、意向確認し、同意を得た上で選任することとされた。

5 閉 会